



親愛なる姉妹、友人の皆様

聖霊降臨の大祝日に、皆様の上に主の平和がありますように。そして、戦争、残虐行為また自然災害の故に苦しむ兄弟姉妹の住まう、全ての地にもその平和がもたらされまうように。主イエスから送られる愛の霊が彼らの勇気と希望の源となりますように。

復活祭からの使徒としての旅が聖霊降臨で成し遂げられるとき、聖霊が常に私たちと共におられ、信仰の旅路では決して孤独ではないと再び気づかせてくださいます。聖霊は、私たちの内におられ、私たちが話したり、真理を生きるのを助けてくださいます。神を中心において生きるとき、聖霊が心の鼓動に合わせて囁かれるのが聴こえます。初代教会の弟子と同じように神について大胆に語る勇気を聖霊は私たちにも与えてくださいます。

1686年、ニコラ・バレ師の死の直前、聖霊降臨の祝日が近づく頃、師は、聖霊が姉妹たちを‘捉える’ように、また姉妹たちが聖霊に‘捉えられるままに’になるようにと祈られました。この祈りは何世紀にも亘って受け継がれています。さらに、私たちが遺産として受け継ぎ、今日も生きようとしているこの霊性に惹かれるすべての人にまで及んでいます。聖霊に‘捉えられる’とは、私たちの中に聖霊が安らかに住める場を見出すことです。パウロは語っています。「あなたがたは、自分が神の神殿であり、神の霊が自分たちの内に住んでいることを知らないのですか。」(Iコリント 3:16)

神は、様々ななさり方で私たちに出会ってください。人としてのイエスは、弟子たちが見て触れる身近な友であり、食事を分かち合い、深い愛と親しみをもって関わってくださいました。今、聖霊降臨を迎え、神は時空にとらわれることなく、しかも、誰にでも、どこでも、そしていつも私たちのところにやってこられます。聖霊は私たちの心の中に住まれ、その奥深くで働かれます。聖霊を決して見ることはなくても、神に向かう心の動きを体験します。私たちが聖霊に‘捉えられるまま’になり、聖霊が私たちを‘捉える’事実がこれではっきりと確信できます。

聖霊は、修道会発足の道しるべとなったのですが、その聖霊に対するバレ師の信心に導かれて神の呼びかけに応えるとき、私たちはインスピレーションと勇気の源となる聖霊につねに心を向けるよう励まされてきました。会の書に明確に記されています。「私たちが聖霊に‘捉えられるまま’になっているならば、聖霊は活動と観想の浸透し合った使徒の生き方を、私たちのうちに徐々に実現していく」(14項) 2013年の総会文書の中で、この6年間の方向性を述べていますが、もし、「今

日、創造の協力者」となるよう招かれているのなら、「神の霊に導かれる」ままになっていることが大切です。もし、勇気を出して再びこの呼びかけに全身全霊で応えるならば、聖霊が私たちを通してどんな不思議なことをなさるでしょうか.....?

私たちが心と目を開くなら、聖霊がどこにでもおられることがわかります。内なる促しに波長を合わせ自分に問いを発するようになります。「これは、聖霊からの促しでしょうか？」と。生き方は新たに色づけられ新しいエネルギーを得ます。聖霊と共に自由に喜び、踊れるようになります。

聖霊降臨はこの数年間、神の霊にどのように協力してきたか？とそれぞれが自問するに相応しい時かもしれません。振り返ってみた時、何か、重要な霊的な出来事を見い出せますか？その時あるいは後日、見い出しましたか？そういう出来事から何を教えられましたか？今、私にとってどのように、またどれほど大切なものでしょうか？聖霊降臨は人生の曲折する旅の全ての局面に伴います。生活の中で聖霊の働きに気づくために、私は静寂と祈りに十分な時間をさいているでしょうか？

心を大きく開くと、日々の生活の中に聖霊の促しが感じられ、神に向かっての旅がくり広げられるのがわかります。これは、多忙なスケジュールから時間を捻出し、心の静けさに身を置けばできることなのです。しかし、それは、注意、集中力を必要とするものでもあります。静けさは人生の局面を深く掘り下げ問いただすよう私たちを促し、思いがけない方法で神に応えることができるようにしてくれます。



奉獻生活の年である今年、10月にバンコックで開催される会の顧問会に目を向けながら神が私たちに与えられる全ての可能性に心を開くことができるよう、聖霊に新たに祈り求めましょう。刷新と活性化のこの機会に、全身全霊で関わるすることができますように。そうすれば、聖霊が私たちを捉え、内なるエネルギーと炎に気づかせてくださるでしょう。

聖霊の賜物は最高の賜物であり、神の心に私たちを招き入れ、三位一体の命のうちに分かち合ってください。熱誠、希望そして喜びで私たちを燃え立たせるために、三位一体から私たちに届く愛の輝き、それが聖霊なのです。

聖霊はキリスト者共同体において新しい弟子たちを産み、靈感を与え続けています。マリアは最初の弟子であり、弟子たちが目指すモデルです。マリアは真に霊的な女性です。神のみ言葉を喜んで受け入れたので、彼女の中で、また、彼女を通して聖霊は偉大な事を成し遂げることができたのです。聖霊が人間において成就し得る完全な模範としてマリアは輝いておられます。そこには、神の

み業を遮るものはありません。

新約聖書に見られるマリアの最後のお姿は心温まるものです。弟子たちに囲まれ、共に祈り、聖霊の訪れを受けておられます。イエスの母として共同体の中心におられます。完璧な弟子であり、東方教会ではマリアを‘聖霊のイコン’と呼んでいます。

今年の聖霊降臨を祝うにあたり、神さまが皆さまの心に新たな霊を送ってくださるよう、公子、マリア、ノーリンと私はお祈り申し上げます。聖霊に満たされ、み言葉を宣べ伝えるために力と情熱をもつダイナミックな共同体になれるよう努力を新たにいたしましょう。そして、一つの共同体として、私たちの主イエスの内に示された神の真理と愛を誤ることなく明確に証しするものとなれますように。

聖霊が皆さまと共にいてくださいますように！

マリ

